

平成 2 7 年

高 松 市 教 育 委 員 会 1 2 月 定 例 会

会 議 録 (抄 本)

1 2 月 2 4 日 (木) 開 会

1 2 月 2 4 日 (木) 閉 会

出席委員			
委員長	神内 仁		
委員	児玉 令江子		
	木場 巳男		
	藤本 英子		
教育長	松井 等		
欠席委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	東原 利則		
教育局次長 総務課長事務取扱	森田 素子		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	橋本 良治		
中央図書館主幹	吉井 久二		
総務課長補佐	楠原 昌能		
総務課総務係長	田中正徳		
会議録署名委員	藤本 英子		
事務局担当書記	秋山 博昭		

【特記事項】 傍聴人なし

議 事 日 程（ 1 2 月 定 例 会 ）

日程第 1 議案第 37 号 高松市図書館条例施行規則の一部改正について

日程第 2 報告事項

- 1 平成 27 年第 5 回高松市議会定例会提出議案（別途提出分）に対する意見の申出について
- 2 平成 27 年第 5 回高松市議会定例会答弁要旨について

【平成27年12月24日（木） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

委員長が、会議録の署名委員に藤本委員を指名。

日程第1 議案第37号

議案第37号 「高松市図書館条例施行規則の一部改正について」

中央図書館主幹から、高松市林コミュニティセンターの移転に伴い、改正することについて説明。

<質疑>

(発言する者なし)

日程第2 報告事項

報告事項1 「平成27年第5回高松市議会定例会提出議案（別途提出分）に対する意見の申出について」

総務課長から、市長より意見聴取のあった平成27年第5回高松市議会定例会提出議案（別途提出分）に対する意見について、教育長の代決により「意見は特にない」旨で回答したことについて報告。

<質疑>

(発言する者なし)

報告事項2 「平成27年第5回高松市議会定例会答弁要旨について」

教育局長から、平成27年第5回高松市議会定例会での教育委員会関係の質問及び答弁について報告。

<質疑>

- 委 員 こどもスマイルテレホンの相談受付状況と深夜外出を原則禁止とする香川県条例での深夜とはどの時間帯かについて教えてください。
- 教育局次長 こどもスマイルテレホンの受付件数は、平成26年度の実績では64件あります。こどもスマイルテレホンの電話に掛かってきたものが41件、少年育成センターの電話に掛かってきたものが12件、少年育成センターに来所されて相談があったものが11件です。
- 委 員 この件数はのべ件数ですか。
- 教育局次長 そうです。
- 委 員 どのような相談の内容が多いのですか。
- 教育局次長 一番多いのが家族関係で、2番目が不登校、3番目が2つありまして、友人関係といじめについてです。相談が多いのが中学生で、2番目が小学生、3番目が高校生となっています。また、相談者では1番多いのは保護者で、2番目が本人で、3番目が祖父母からとなっています。月別では8月が1番多いです。
- 教 育 長 香川県青少年育成保護条例第15条に深夜外出の制限等について規定されていて、その中に「保護者は、午後11時から翌日午前4時までの間、その監護に係る青少年が外出する場合においては、保護者が自ら同行するか、又は成年者に囑託して同行させるように注意しなければならない。ただし、必要やむを得ない事情がある場合は、この限りでない。」とあります。
- 委 員 新聞を利用した授業の取組み状況ですが、何人の児童生徒が新聞を見ているかの割合は把握されているのですか。
- 教 育 長 学校では何人の子どもが新聞を見ているかのデータは取っていません。
- 委 員 社会でも新聞を取る家庭が減ってきています。様々な価値観や出来事がある

ということを知ってもらうためにも、子ども達に新聞を見る習慣づけをすることが必要であると思います。

- 教 育 長 保護者の家庭の事情もあります。また、学校で新聞を置くよう予算化もしています。
- 委 員 新聞や広告で学習する授業がありますが、それを持って来られない子どもが多いということを聞いたりしますので、新聞を取っていない家庭が増えていると思います。
- 教 育 長 家庭科の授業でもスーパーマーケットの広告を使用したりします。
- 委 員 大学の推薦試験の面接指導をしています。新聞を取っていない方が多いです。新聞の中から時事的な事を知ることができます。
- 委 員 タブレットは全校の生徒に配布するのですか。
- 教 育 長 平成32年度までに教室で使用する教育用コンピュータのタブレットに占める割合を50%にしていく予定です。タブレットだけを使用するのではなく、黒板を使用することも大事ですので、両方の良い部分を上手に使い分けていく授業にしていく必要があると思います。
- 委 員 先生の勤務の負担軽減にもなりますか。
- 教 育 長 タブレットを使用しても準備は必要です。使用した資料を他の先生が使えることができますので、軽減される部分はありますが、それを熟知するまでに時間がかかります。
また、通信簿、指導要録等の作成する用務を軽減するために校務支援システムを導入していますが、熟知すれば業務が早く進みますが、慣れるまでに時間がかかるという声もあります。
- 委 員 長 数千ページもある洋書の専門書の内容がタブレットの中に入っていて、以前は辞書で調べていたものが、画面に触れると訳が出てきたり、また、ネットに繋がったりします。
- 教 育 長 辞書の引き方が分からなくなることも考えられますので、タブレットと辞書の両方を上手に使っていかねばなりません。
- 委 員 先進国などの外国ではどのような状況なのでしょう。
- 教 育 長 結構導入はされていると思いますが、上手に使い分けていると思います。

- 委 員 グローバル化が進んでいますので、子ども達が外国の状況から遅れてもいけないと思います。
- 委 員 長 校務支援システムの導入により、教員の事務の効率化、負担軽減は進んでいるのでしょうか。
- 教 育 長 年配の先生は慣れるのに時間がかかったとの声但也有りますが、業務改善には役立っていると思います。進んだ取組みですので、県外から総合教育センターに視察に結構来ています。

————— 午前11時00分 閉会 —————

議決事項

「高松市図書館条例施行規則の一部改正について」